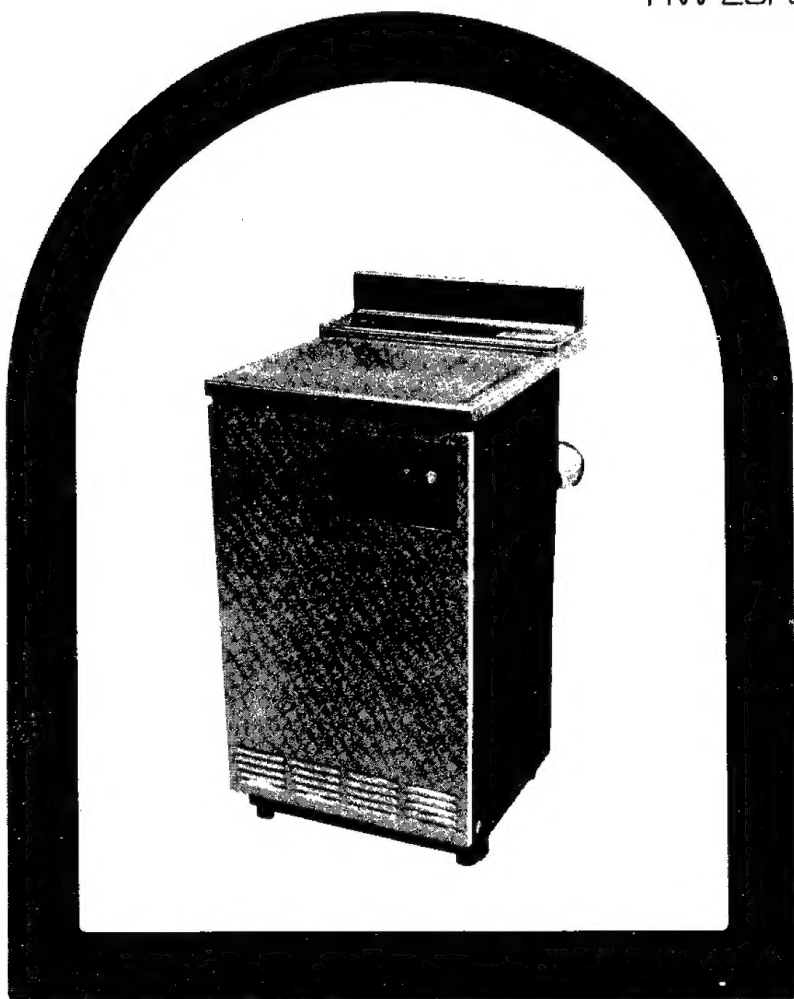
大阪ガス

ガス給湯暖房機 シンプルシステム〈エックスII〉

取扱説明書 44-675·676·677型

型式 HW-20F3(G)
HW-20F3(P)

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお求めの販売店にお問い合わせください。

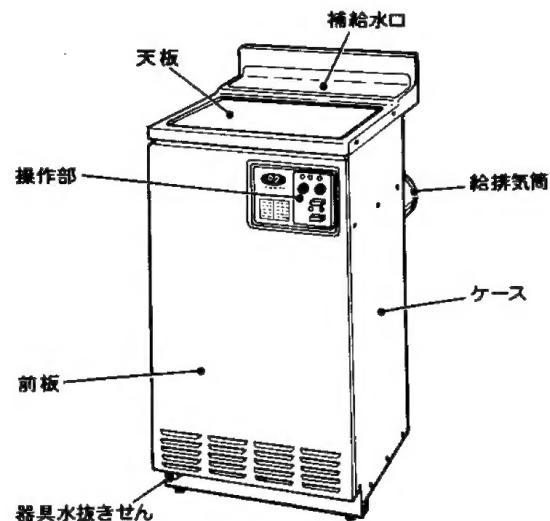
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの給湯暖房シンプルシステム〈エッフスII〉をお求めいただきありがとうございます。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

各部の名称

外観・構造

●後方排気型
44-675型(型式HW-20F3(G)・HW-20F3(P))

●排気出口変更
〈左排気〉**44-676型**(型式HW-20F3(G)・HW-20F3(P))
〈右排気〉**44-677型**(型式HW-20F3(G)・HW-20F3(P))

各部の名称②

〈器具操作部〉

給湯燃焼ランプ
お湯を使っているときに点灯します。

切替ランプ
器具操作部優先のときに点灯します。
● 消灯中は器具操作部で湯温切替はできません。

給湯ランプ
給湯スイッチを「入」にすると点灯します。

湯温切替スイッチ
お使いになる湯温にセットしてください。

湯温微調節つまみ
湯温切替スイッチの湯温をさらに微調節できます。

給湯スイッチ
ご使用になるときに「入」にしてください。
● 点火・消火は、給湯せんの開閉で行なってください。

暖房スイッチ
ご使用になるときに「入」にしてください。
● ご使用になるファンコンベクター、バスヒーターなどのバルブを「全開」にしてください。

暖房燃焼ランプ
暖房のバーナーが燃焼しているときに点灯します。

暖房ランプ
暖房スイッチを「入」にすると点灯します。

給湯ランプ　燃焼ランプ　切替ランプ　湯温微調節　1　2　3　4　湯温切替　低　高　給湯スイッチ　切　入　給湯　暖房　暖房ランプ　燃焼ランプ　暖房スイッチ　切　入

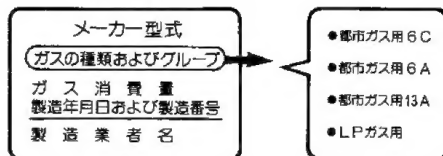
ガス給湯シンプルシステム〈エックスII〉(44-675)の概要

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

〈銘 板〉

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

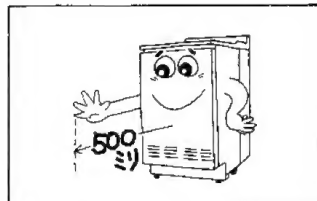
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。器具の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

使用場所についてのご注意

●屋内専用の器具です。屋外には絶対取り付けないでください。

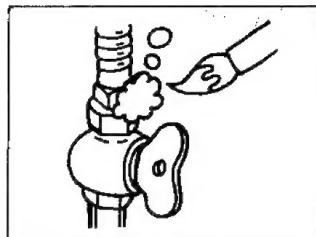
●正面は、保守・アフターサービス上、500㎜以上の空間が必要です。また、保守・アフターサービスのときに天板をはずしますので、天板を壁やタイルなどで埋め込まないでください。

特に注意していただきたいこと②

使用時のご注意

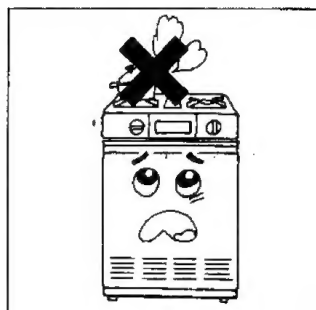
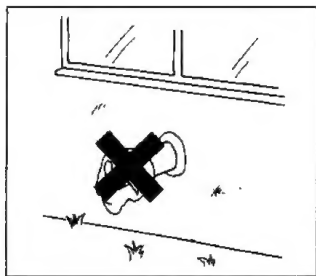
(1) ガス漏れ予防

●使用後は、燃焼ランプが消えたことを確かめてください。

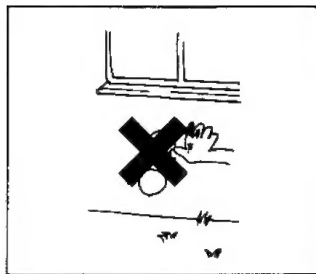
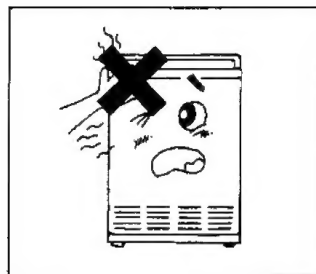
●長期間使用しないときは、必ず給湯スイッチおよび暖房スイッチを切り、ガス元せんを閉めてください。

●配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。

(2) 火災予防

●器具の上にはガステーブル・こんろなどの燃焼器具を設置しないでください。

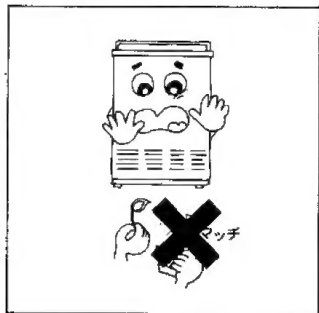
- 異常に加熱しますと、電気部品が破損します。
- 外装に変形が生じます。
- 油分や空気中のほこりが内部に入りますと、いちじるしく性能が悪くなります。

●給排気筒に物をのせたり、立て掛けることは危険ですから絶対に避けてください。

特に注意していただきたいこと③

(3) 火傷にご注意

●使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

(4) ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉め、お求めの販売店かガス会社にご連絡ください。

特に注意していただきたいこと④

●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの「入」、「切」や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

(5)凍結についてのご注意

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。
詳しくは、15～16ページの「凍結防止について」をお読みください。

(6)異常時の処置

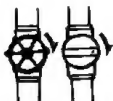
●万一、異常燃焼(メーンバーナー着火時や使用中に"ゴー"と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。

お湯の使用場所

2. 給湯スイッチおよび暖房スイッチを「切」にする。

器具操作部

3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。

器具の後部

特に注意していただきたいこと⑤

(7)たまった水は飲まないでください

●器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

(8)アース(接地)のご確認

ご使用前に、次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。

●分電盤内のアース端子へアース線が接続されているか。

●アース棒を使用しているか。

●コンセントのアース端子へアース線が接続されているか。

〔ご注意〕アース工事がされていない場合は、漏電しゃ断器が付いていることを確認してください。

ポンプロック予防について

●給湯をお使いになると温水循環用ポンプが約30秒運転することがありますが、ポンプロック予防のためで異常ではありません。

日常の点検·手入れ

●日常の点検・手入れは、必ず行なってください。
(詳しくは19ページをお読みください)

●故障または破損したと思われる場合は、お求めの販売店かガス会社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

器具の設置について

(詳しくは工事説明書をお読みください)

●器具の設置は、お求めの販売店かガス会社に依頼してください。

●安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

使用手順

点火前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。

器具の後部

2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。

お湯の使用場所

3. ガス元せんを全開にしてください。

器具の後部

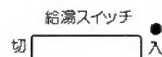
4. 器具用のブレーカを「入」にしてください。

屋内の分電盤

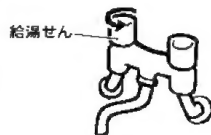
給湯の使い方

点 火

❶ 給湯スイッチを「入」にします

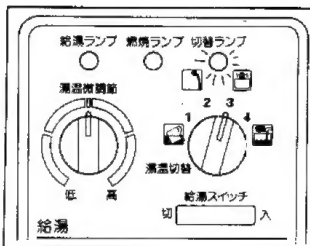
（給湯ランプ（緑色）が点灯します）

❷ 給湯せんを開けます

●パイロットバーナーとメーンバーナーに点火し、お湯が出ます。

（点火と同時に、燃焼ランプ（赤色）が点灯します。）

〔注〕給湯燃焼ランプ（赤色）が点滅しているときは、お湯になりません。このような場合は、いったん給湯せんを閉め、しばらく待ってから給湯せんを開けてください。給湯せんを開け、約20秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスを停止し、給湯燃焼ランプ（赤色）の点滅動作でお知らせします。

湯温調節

❶ 切替ランプの確認

点灯していることを確認してください。

❷ 湯温切替スイッチを切り替えます

●お使いになる湯温にセットしてください。

（季節により多少変化することがあります。）

（湯温微調節つまみを「高」と「低」の中間にしたとき）

数字	絵文字	湯温（目安）
4		高温 約80℃
3		やや熱め 約50℃
2		シャワーなど 約43℃
1		ぬるま湯 約37℃

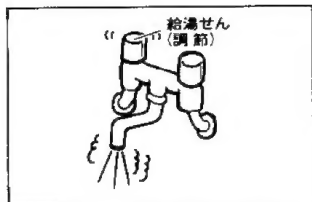
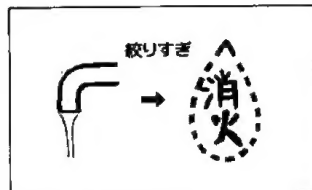
●中間の位置にセットしても湯温は切り替わりません。

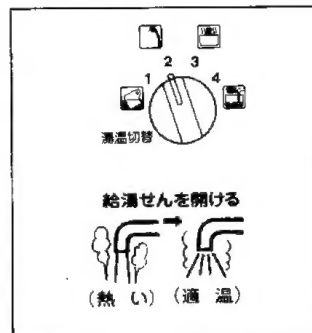
❸ 湯温微調節つまみを調節します

●湯温をさらに微調節されるときに操作してください。1目盛で約1～2℃の温度差があります。

使用手順③

給　湯

●湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。

●湯量を約2ℓ/分以下に絞りますと、メーンバーナーの火が消えるようになっています。

夏期には

●水温が30℃近くになりますと、湯温切替スイッチを「1」、「2」にセットしても湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

〔注〕

●給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

●2カ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。

使用手順④

●シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります。)

消　火

❶ 給湯せんを閉めます

●お湯が止まり、メーンバーナーが消火し、給湯燃焼ランプ(赤色)が消えます。

●メーンバーナーの消火後、約7分間は、パイロットバーナーのみ燃焼し、排気ファンは運転状態になっています。
これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。

(約7分経過後、自動的にパイロットバーナーも消火し、排気ファンの運転が止まります。)

●次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでメーンバーナーに着火してお湯が出てきます。(給湯スイッチを「入」にした状態)

お出かけや、おやすみの際など

❷ 長時間使用しない場合

給湯スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。
〔給湯ランプ(緑色)が消えます〕

暖房の使い方

❶ バルブを全開にします

●暖房配管またはご使用になるファンコンベクター、バスヒーターなどのバルブを全開にしてください。
ファンコンベクターに電動弁を使用している場合は、ファンコンベクターの切替スイッチを「ON」にすると自動的に「開」になります。

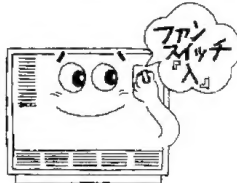
点 火

❷ 暖房スイッチを「入」にします

●暖房スイッチを「入」にしてください。

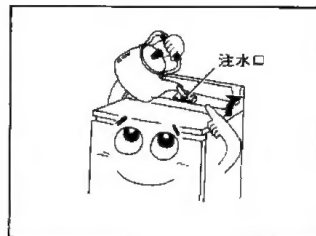
●暖房ランプ(緑色)が点灯し、自動的にメーンバーナーに着火し、燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

●室内のファンコンベクターのファンスイッチを入れると、しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出て室内を暖房します。

〔注〕ファンコンベクターのファンスイッチを急に「停止」にすると、「コトン」という音がすることがあります。ファンスイッチはゆっくりと操作してください。

※マルチコントロールシステムの場合

①暖房スイッチを「切」のままで、ファンコンベクターのファンスイッチを「入」にしてください。
②暖房ランプが点灯し、自動的にバーナーに着火し、燃焼ランプが点灯します。(そのとき、ファンコンベクターの運転ランプが点灯します)

〔注〕

●暖房ランプ(緑色)が点滅しているときは、暖房スイッチを「切」にし、補給水タンクに補給してください。
補給水タンクの水は蒸発しますので約1カ月に1度ぐらい水を補給してください。
(暖房の使用時間により異なります)

●補給水はフィルター内に水が見えるまで注水してください。

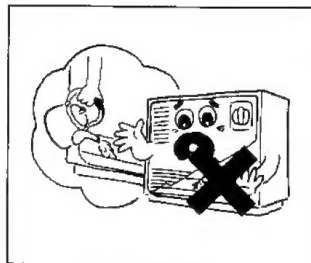
●水の減りかたが速かったり、急に速くなった場合は水漏れしている可能性があります。配管をよくお調べのうえお求めの販売店かガス会社にご連絡ください。

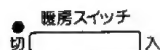
●暖房水は不凍液の溶液です。適正濃度を保つために1年に1度は不凍液濃度の点検をお求めの販売店かガス会社にお申しつけください。

●燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは燃焼していません。このような場合は、いったん暖房スイッチを「切」にし、しばらく待ってから暖房スイッチを「入」にしてください。
(暖房スイッチを「入」にして、約20秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスを停止し、燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。)

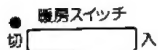
●室温が高い場合には、暖房スイッチを「入」にしても燃焼ランプ(赤色)が点灯しない場合があります。

●ファンコンベクターに加湿水を補給する場合は、ヤカンなどにより注水してください。
(加湿器のあるファンコンベクターの場合。)

消　火

❶ 暖房スイッチを「切」にします

バーナーが消火し、暖房燃焼ランプ（赤色）・暖房ランプ（緑色）が消えます。

お出かけや、おやすみの際など

❷ 長時間使用しない場合

暖房スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。
〔暖房ランプ（緑色）が消えます〕

- ●停電すると自動的にガスが止まり、給湯・暖房とも燃焼が停止します。
- ●再通電したときは、給湯・暖房とも自動的に復帰し、再燃焼します。
- ●長時間停電したときは、念のため給湯せんを閉めて、給湯スイッチ・暖房スイッチを「切」にしてください。
- ●再通電したときは、8および12ページの「[illegible]点火」に従って操作してください。

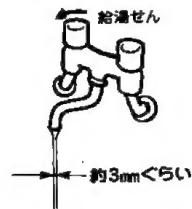
凍結防止について

- ●凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常（空だきなど）をおこす危険があります。
- ●凍結による修理は有料です。

凍結防止方法

給　湯

❶ 給湯せんから水を流す方法

- ●ガス元せんを閉め、給湯スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc（牛乳びん1本ぐらい）の水を浴そうに流し込んでください。
- ●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。

❷ 水抜きによる方法

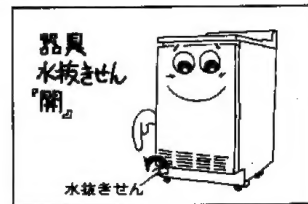
次の順序で行なってください。

(1) 給湯スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉める。

(2) 給水元せんをしっかり閉める。

(3) 器具の水抜きせんを開け、皿で水を受ける。

(4) すべての給湯せんを開ける。
　●水抜きせんと、給湯せんから水が抜けるのをお確かめください。

(5) 水が出なくなると、器具の水抜きせんを元通りしっかり閉める。

凍結防止について②

〈水抜き後の使用方法〉

(1) ガス元せんを閉めた状態、および給湯スイッチを「切」にした状態で給水元せんを開け、給湯せんから水が出るのをお確かめののち、給湯せんを閉めてからお使いください。

(2) 再使用するときは、8および12ページの「■点火」に従って操作してください。

ご注意

●もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(給湯スイッチを「切」にした状態で)、給湯せんを開け、水が出るまで待ってからお使いください。

暖房

●不凍液をご使用ください。
(不凍液については、お求めの販売店かガス会社に相談してください)

凍結したとき

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。

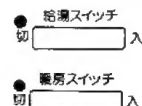
●解凍したあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。

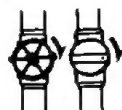
●器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

安全装置が作動したときの処置方法

処置について

●点火しなかったり、ご使用中にメーンバーナーが消火したときは、20ページの「**故障・異常の見分け方と処置方法**」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、給湯スイッチ・暖房スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてからお求めの販売店かガス会社にご連絡ください。

1. 給湯スイッチおよび暖房スイッチを「切」にする。

器具操作部

2. 給水元せんおよびガス元せんを閉める。

器具の後部

3. お求めの販売店かガス会社へ……

連絡

パイロット安全装置

●パイロットバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、給湯燃焼ランプまたは暖房燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。
このような場合は、8ページの方法で再点火してください。

空だき防止装置(暖房)

●暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり、暖房ランプ(緑色)の点滅でお知らせします。
このような場合は、13ページの方法で補給水タンクに補給してください。

空だき安全装置(給湯・暖房)

●万一、メーンバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

安全装置が作動したときの処置方法②

過熱防止装置

●万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

電流ヒューズ

●過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

過圧逃し弁(給湯)

●器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

停電時安全装置

●使用中に停電になると停電用安全回路が作動し、ガスを自動的に停止し、運転が止まります。
停電後の使用方法については14ページの「停電後の使用方法」をお読みください。

ファン回転検知装置

●ファンが所定の回転数以上で回らなくなったとき、検知装置が働いて、自動的にガスを止め、運転が止まります。

水流スイッチ

●給湯量を約2ℓ/分以下に絞りますと、自動的にガスが止まります。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを閉め、器具操作部の給湯スイッチ・暖房スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、器具が冷えてから行なってください。

点　検

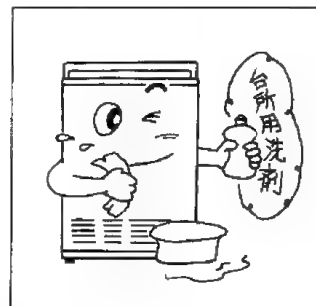
●器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください）

●運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。

●器具の外観に異常は見られませんか。

●器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

お手入れ

●器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。
シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

〔注〕器具操作部の内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お求めの販売店かガス会社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して、十分な点検をお願いします。

現象 / 原因（○＝主原因 △＝原因）		寒い日に排気口から湯気が出る	給湯せんを開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても燃焼ランプが消えない	給湯スイッチ・暖房スイッチを「入」にしても燃焼ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない、点滅する	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法	お客さま	お求めの販売店かガス会社
ブレーカが「入」になっていない		異常ではありません	○						○			ブレーカを「入」にする	*	
ガス元せんの開き不十分			△	△	○		△			△	△	ガス元せんを全開にする	*	
配管内に空気が残っている			△	△						△		点火操作を繰り返す	*	
ガス圧が適切でない	低い		△	△	△		△			△	△	他の器具も同様の場合は点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い			△										*
給水元せんの開き不十分			○	△		○	△					給湯せんをいったん閉めてから給水元せんを全開にする	*	
水圧が適切でない	低い		○	△			△					点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い						△							
水フィルターの詰まり			△	△		△	△					詰まり除去、または依頼する		*
断水している			○									給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している			○									解凍するまで使用を中止する	*	
バーナー炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり			△	△	△					△	△	点検を依頼する		*
熱交換器の目詰まり				△	△						△	点検を依頼する		*
湯温調節が適切でない					○	○	○					「使用方法（湯温調節）」を参照する	*	
給湯せんの開き不足			△	△		○	△					給湯せんを全開にする		*
ノズルの詰まり			△						△			点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
安全装置が作動した			○	○						○		点検を依頼する（度々作動する場合）		*
水流スイッチの故障			△	△	△	△	○	○				点検・修理・部品交換を依頼する（他に原因がないとき）		*
電気部品の故障			○	△	△	△		○	○	○	○	点検を依頼する		*
ポンプが回転しない											○	点検を依頼する		*
水フィルター または ポンプのごみ詰まり											○	点検を依頼する		*
補給水タンクの水不足									○			補給水タンクへ水を補給する	*	
燃焼用ファンが回転しない			○							○		点検を依頼する		*

処置方法や原因のわからないときは、お求めの販売店かガス会社へご連絡ください。

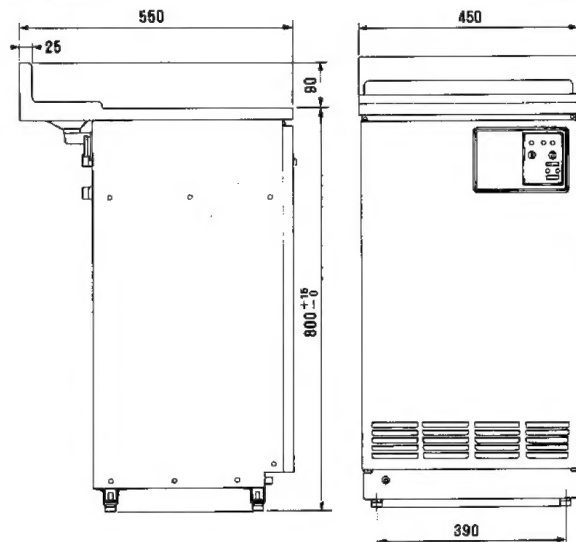
寸法図と仕様一覧表

項目		仕様			
器種名		ガス給湯暖房機			
型式名		HW-20F3(G) HW-20F3(P)			
品番		44-675	44-676	44-677	
種類	給湯方式	先止め式			
	暖房方式	温水循環方式			
	給排気方式	強制給排気方式			
設置方式		屋内設置方式			
点火方式		電子イグナイタによる連続放電点火式			
外形寸法		高さ800mm×幅450mm×奥行550mm(配管スペースを含む)			
重量		50kg（運転時 55kg）			
水圧	使用水圧	1kg/cm²以上			
	作動水圧	0.3kg/cm²			
最低作動水量	給湯	2ℓ/分			
	暖房	0ℓ/分以上（締切り使用可能）			
ポンプ機外揚程		5.0mH_2O(5ℓ/分のとき)			
温度制御方式	給湯	電子式比例制御方式			
	暖房	電子式 Hi－Lo－OFF制御方式			
温度調節	給湯	〔1〕	〔2〕	〔3〕	〔4〕
		約37℃	約43℃	約50℃	約80℃
	暖房	Lo～OFF：73～88℃　Hi～Lo：70～85℃			
排気ファン制御方式	給湯	Hi 一定（強回転）			
	暖房	負荷による Hi－Lo－OFF制御			
	同時	Hi 一定（強回転）			
安全装置		パイロット安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置 過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁・停電時安全装置 ファン回転検知装置・水流スイッチ・誘導雷保護装置			
消費電力		最大 140W			
接続	ガス	PT¾ オネジ			
	給水・給湯	給水・給湯配管用 15Aソルダー継手付き			
	暖房	暖房配管用 15Aソルダー継手付き			
	オーバーフロー	PT½ オネジ			
	電気	本体電源 AC100V・60Hz			
付属品		15Aソルダー継手(5コ)			

寸法図と仕様一覧表②

使用ガス 使用ガスグループ		型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)	
			全ガス消費量	給湯ガス消費量 最大	給湯ガス消費量 最小	暖房ガス消費量	能力最大時 給湯	能力最大時 暖房
都市ガス用	4 B	HW-20F3(G)						
	4 C							
	5 C							
	6 A		32,000	24,300	8,500	8,500	19,500(13号)	7,000
	6 B							
	6 C		30,500	24,300	8,500	8,500	19,500(13号)	7,000
	7 C							
	12A							
	13A		32,000	24,300	8,500	8,500	19,500(13号)	7,000
LPガス用		HW-20F3(P)	2.58 kg/h	2.0 kg/h	0.71 kg/h	0.69 kg/h	18,750	6,600

●給湯能力の(　)内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。
●使用ガスグループ中の斜線部は生産しておりません。

〔外形寸法図〕　　〔単位：mm〕

長期間使用しない場合

必ずガス元せん・給水元せんを閉め、器具操作部の給湯スイッチ・暖房スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、下記の処置を行なってください。

給湯側

●15ページの(❷水抜きによる方法)を参照のうえ、水抜きを行なってください。

暖房側

●お求めの販売店かガス会社へご連絡ください。
　調査のうえ、必要とあればガス会社指定の不凍液を入れさせていただきます。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお求めの販売店かガス会社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品 名………(ガス給湯暖房機〈エーパスII〉)
(2) 品 番………前板右下部に貼付してあります。
(3) 現 象………(できるだけ詳しく)
(4) 道 順………(できるだけ詳しく)

(4)44-675(U)
大阪ガス株式会社
444 675 04
(AD-204FFA-K)

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、ガス会社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

この器具には保証書がついています

●このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

お ね が い

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

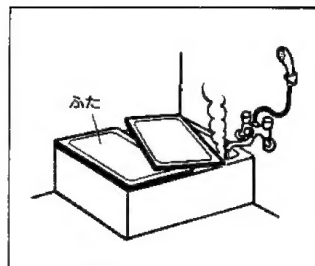
本製品と快適な暮しのために

こまめに湯温切替を!

●水の混合は避け、用途に合わせ、こまめに湯温切替すると、より経済的です。
(混合水せんで湯温調節しますと、調節する間に流れる水とガスがムダになります。)

風呂への給湯・沸き上げは……

●給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。

●ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市緑の里39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社